

(様式3)

## 平成30年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	産業支援センター	所在地	伊勢市朝熊町4383-469
指定管理者名	伊勢商工会議所	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
設置目的	産業の活性化と雇用の安定及び確保を図るため、内発型事業を推進する施設として設置		
業務内容	(1)職員の雇用に関すること (2)産業振興に関する業務 (3)施設の管理に関わる業務 (4)業務に当たったの諸事項 (5)情報公開 (6)文書の管理・保管		
施設概要	施設面積:2996.02㎡ 施設内容:鉄骨平屋建(①本棟、②実習棟)		
職員体制	6.5名(兼務職員含む)		
施設所管課名	産業観光部商工労政課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	46,028,571	45,932,000	45,930,000	△ 2,000
	利用料金	1,488,710	565,410	691,520	126,110
	その他	2,647,347	3,250,202	2,471,207	△ 778,995
	計(a)	50,164,628	49,747,612	49,092,727	△ 654,885
	支出				
	人件費	31,122,905	31,489,346	26,919,162	△ 4,570,184
	管理運営費	8,035,881	6,922,107	7,972,507	1,050,400
その他	4,024,737	6,413,648	6,597,981	184,333	
計(b)	43,183,523	44,825,101	41,489,650	△ 3,335,451	
収支差引額(a)-(b)		6,981,105	4,922,511	7,603,077	2,680,566

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	収入の利用料金は、H29は市外からの万能試験機の利用が多く収入増となったが、H30は平年並みの収入となった。支出の人件費は、H29より1名減。管理運営費、その他は平年並み。
----------------------------------	--

### 3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<p>①起業支援、②企業支援、③雇用・就労支援、④伝統工芸支援の4つの事業を柱とし、各種事業を積極的に実施した。</p> <p>特にH30年度は、例年開催している事業に加え、新たに①起業支援では、鳥羽商船高等専門学校と連携し、生徒に対して起業家育成についての特別授業の実施やアドバイザーを活用し女性起業支援に取り組んだ。</p> <p>②企業支援では、販売力向上・販路拡大支援としてWEB活用セミナーの開催。③雇用・就労支援では、新規に水産高校教諭、三重大工学部情報工学科の地元企業視察会を開催。④伝統工芸支援では、講座のPR、施設の活用と利用者の増加に努めた。</p> <p>また、広報についても、DMやホームページなどで定期的にPRを実施、メルマガ登録者の増加にも努めた。</p>	<p>施設の管理については、適正に行われていた。</p> <p>企業支援について今年度新たにWEB活用セミナーを実施し、企業の販路拡大支援を行ったことに関しては評価できる。</p> <p>起業支援について、事業計画の策定支援など起業家に対する支援を行っているが、起業家支援室等に空室があるため、支援室等の入居に繋がる取組をされたい。</p> <p>昨年度に比べ、センター全体の利用者数が減少しているため、次年度は、当該センターの魅力向上に加え、魅力の発信についても注力されたい。</p>

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を十分理解を管理行った。	A	施設の目的や基本方針については、実施事業、日々の業務から理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	A	管理運営を通して、地域産業の活性化と雇用の安定及び確保、インキュベーション施設を活用した起業家の育成等に関する新たな内発型事業を多数実施した。	A	施設の利用状況、実施事業から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	B	2,972人の方々に当施設を利用頂いたが、H29年度に比べ8%減少した。	B	昨年に比べ、利用者数が減少している。今後センターの利用拡大に向け情報発信に注力いただきたい。
	④運営状況	A	規定の供用日数・時間で運営を行い、休日の事業開催には、管理課へ所定の申請書を提出し、事業を実施した。	A	規定の供用日数・時間で運営を行い、休日の事業開催には所定の手続きが行われ、適正な施設の運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	統括責任者・事業責任者・事業担当職員・事務担当職員・創業コーディネーター・企業支援員を適正に配置し、各事業へ動勉に従事した。	A	業務体制において、担当者変更の際は届出があった。次年度、より良い事業展開を行うため、業務体制の見直しを図りたい。
	⑥意思疎通	A	担当者と定期的に連絡を取り合い、情報共有をはかるとともに、毎月開催の企業支援員月例報告会等で各種事業の予定や実施状況、また市内企業の状況を把握して頂くなど十分な連絡調整を行った。	A	毎月の報告会等により十分な連絡調整が行われた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	点検記録、修繕記録等、各種整備・保管は適正に行った。	A	各種記録は、適正に整備・保管されていた。
	⑧地域の振興	—	—	—	—
	⑨使用許可等	A	使用許可等の申請の取扱いは個人情報の点からも適正・慎重に行った。	A	使用許可等申請の取扱いは適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	各種の帳簿は漏れなく作成を行い、適正に処理を行った。	A	帳簿等は適正に作成され、処理も適正に行われていた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取り扱いについては、担当係を選任しており、申請書類等の該当書類は金庫等での保管や不要な情報については消去した。	A	担当係が選任されており、取扱いも適正であった。個人情報漏洩などの問題も発生していない。
	⑫法令遵守	A	市条例・指定管理仕様書などを理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	定期的にホームページ、メールマガジン、ダイレクトメール、商工会議所チャンネルなどを活用し情報発信を実施した。	B	新聞折込チラシなど、施設利用者の増加に向けて積極的な情報発信が行われていたが、ホームページ上でセンターの支援内容が分かりにくいため、具体的な支援事例の紹介を交えるなど、より利用者にとって分かりやすいものとしていただきたい。
	②利用者の平等な利用	A	毎日の朝礼や週に1度内部ミーティングを実施することで、日々の業務や事業について確認することで情報共有を図り、一定のサービス水準を確保した運営を行った。	A	サービス水準は期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	ホームページやCATV、メールマガジン等あらゆる情報発信ツールを活用することで、遅く情報提供を行った。	A	ネット環境のない方にも情報発信を行うべく、広報いせや折込チラシなどを活用して情報発信が行われた。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時の連絡網は整備し、避難誘導路の確認を行った。	A	防災マニュアルが整備され、訓練も実施されていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	運営や事業において事故や苦情はなかったが、何かあったときは伊勢市担当者へ連絡し、管理課と協議したうえで対応するようにしている。	A	利用者からの意見や苦情等はなく、迅速かつ適切に処理できる体制が整えられている。
	⑥自主事業	A	FRP新造船の材料試験(日本海事協会(NK))や三重県補助金を活用して南勢地域製造管理者育成基礎講座などを実施し、地域内外より多くの方々に利用・受講頂いた。	A	FRP新造船の材料試験や南勢地域製造管理者育成基礎講座については、近隣市町で実施していない事業で、毎年一定の需要があった。
	⑦事業の評価	A	事業実施については、企画・実施・報告を行う事で、都度チェック・反省・見直しを実施するとともに、セミナーでは毎回アンケートを実施し、次年度以降の事業実施に役立てている	A	セミナーにおいて、毎回アンケートを実施することで次年度以降の事業に反映させている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	仕様書にもとづき、専門業者や職員による定期的な手入れや点検を行う事で、施設の安全を確保し、機能や美観を保持している。	A	専門業者による保守点検等が実施され、記録も適正に警備保管されている。
	②備品等の管理	A	備品等については丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等はなかった。	A	備品は整理整頓され、適切に管理されていた。
	③修繕業務	A	異常があった場合は、機器にあった点検・整備を業者に依頼し、速やかに伊勢市へ報告を行った。	A	速やかに報告が行われるとともに迅速に修繕が行われた。
	④清掃業務	A	定期的な施設清掃(1回/週)と窓清掃とフロアのWAX掛けを2回/年実施。	A	専門業者に委託し、予定通り実施されていた。
	⑤防犯体制	A	鍵は定められた箇所に保管し、貸出帳にて管理している。年度中に防犯に関する問題はなかった。	A	鍵は適正に管理され、また、警備業者による防犯対策を実施し、防犯に関するトラブルは発生しなかった。